

事務事業評価シート

記載年月	平成26年9月
対象年度	平成25年度

1 事務事業の概要

事務事業名	地域子育て支援事業			事務事業コード	10060200
概要	在宅で子育てをしている家庭の支援				
総合計画	基本施策	2	子育て支援	主管部課名	子ども家庭部 保育課
	施策	6	地域における子育て支援	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	ー	見直しの裁量
根拠法令等	児童福祉法・社会福祉法・保育所保育指針総則				
市関連事業					
対象	在宅で子育てをしている親子（主に就学前）				
実施の背景	在宅で子育てをしている親子が孤立することを防ぎ、不安感や負担感を解消する。				
事業目標	地域の子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図る。				
事業内容	<p>市の保育士への相談や保護者同士の情報交換、親子の交流ができる場を提供するひろば事業を市立保育所や文化センター、総合体育館、公会堂等で実施している。今後、地域における支援体制の再構築に向けた取組も進めていく。</p> <p>▼子育てひろばポップコーン ▼すきっぷ ▼ほののぼ ▼ぬくぬく ▼ここん ▼ポップコーンパパ ▼保育所園庭開放 ▼はじめてアート（美術館）</p>				

2 事業計画・評価

H24年度実績 (Do)	H24年度評価 (Check)	評価内容



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H24年度評価に基づく見直し (Action)

H25年度の具体的な取組 (Plan)	H25年度の方向性 (Plan)

H25年度実績 (Do)	H25年度評価 (Check)	評価内容
▼子育てひろばポップコーン ▼すきっぷ ▼ほののぼ ▼ぬくぬく ▼ここん ▼ポップコーンパパ ▼保育所園庭開放 ▼はじめてアート（美術館） （開催事業数 1,158回）	●	平成25年度は拠点保育所を中心に、地域に密着した形で事業展開を行っており、指標の計画値（拠点数）については達成しているものの、更に子育て機能の充実を促進し、地域に根付いた子育て拠点化を推進していく。



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H25年度評価に基づく見直し (Action)

H26年度の具体的な取組 (Plan)	H26年度の方向性 (Plan)
▼子育てひろばポップコーン ▼すきっぷ ▼ほののぼ ▼ぬくぬく ▼ここん ▼ポップコーンパパ ▼保育所園庭開放 ▼はじめてアート（美術館）	●計画継続 前年までの実績から、昨年度と同様の取組を行うほか、地域子育て支援についての研究を行い、更に子育て機能の充実を促進し、地域に根付いた子育て拠点化を推進していく。

平成27年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	A	在宅で子育てをしている家庭を支援し、交流や情報交換などの場が提供できるよう充実させていく必要があることから、地域全体での子育てを支援する取組について効果的・効率的に機能していくよう、地域における支援体制の再構築に向けた取組を進めていく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 延参加者数	25,000	計画	当初値	26,000	26,000	26,000	27,000	地域支援事業として開催する、ポップコーン・すきっぷ・園庭開放・ポップコーンパパ・はじめてアート・ぬくぬく・ほののぼ・ここん・親子体験保育等の事業の延参加者数と開催数をもって事業の評価を行う。
			補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	
② 開催事業数	1,190	計画	当初値	1,190	1,200	1,200	1,250	
			補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	3,115,000	3,115,000	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	1,557,000	1,557,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,558,000	1,558,000	0	0	0	0
予算現額	3,115,000	0	0	0	0	0
決算額	2,795,490	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	1,398,000	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,397,490	0	0	0	0	0
執行率	89.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	5.20					
職員人件費	41,560,314					
嘱託員数	0					
嘱託員人件費	0					
(間接経費)						
間接経費	380,181					
総コスト	44,735,985	0	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
▼平成13年度 子育て支援事業（ポップコーン等）を検討。▼平成14年度子育てひろば「ポップコーン」開始・園庭開放開始。▼平成15年度子育てひろば「ポップコーン・パパ」開始。▼平成19年度地域支援事業計画策定により「すきっぷ」・「ほののぼ」・子育てサロン「ぬくぬく」等事業を開始。▼平成21年度夏期限定の事業として「ここん」開始。▼平成25年度より市立保育所5か所を拠点保育所として地域子育て支援事業を展開。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
今後の課題：在宅で子育てをしている家庭の孤立感や負担感を軽減し、親子の交流と情報交換や仲間づくりを支援するため、在宅子育て家庭への支援を充実していくことが求められる。 今後の展開：在宅で子育てをしている家庭が参加しやすくなるよう、ひろば事業を充実させることや地域子育て支援について研究を行い、更に子育て機能の充実を促進し、地域に根付いた子育て拠点化を推進していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H25年度		H26年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	15	10	10	0549000	地域子育て支援事業費	3,115,000	2,795,490	3,115,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							3,115,000	2,795,490	3,115,000